

藪の中



[藪の中_下载链接1](#)

著者:芥川龍之介

出版者:講談社

出版时间:2009-8-12

装帧:文庫

isbn:9784834263022

わたしが搦め取った男でございますか？

これは確かに多襄丸(たじょうまる)と云う、名高い盗人でございます――。馬の通う路から隔たった藪の中、胸もとを刺された男の死骸が見つかった。殺したのは誰なのか。今も物語の真相が議論され続ける「藪の中」他、「羅生門」「地獄変」「蜘蛛の糸」など、芥川の名作、6編を収録。

※本書は、講談社文庫『羅生門・偷盗・地獄変・往生絵巻』(1971年7月)および、『日本現代文学全集56 芥川龍之介集』(1980年5月)を底本とし、旧漢字・旧かなとなっているものは新漢字・新かな遣いに改め、ふりがなを加えました。底本に見られる誤植等は訂正するなどしましたが、原則として底本にしたがいました。また、底本にある表現で、今日からみれば不適切と思われる言葉がありますが、作品が書かれた時代背景と作品的価値、および著者が故人であることなどを考慮し、底本のままとしました。よろしくご理解のほどお願いいたします。

作者介绍:

目录:

[藪の中 下载链接1](#)

标签

芥川龙之介

日语

日本文学

日本

小说

原文书

日本語

文学

评论

黑泽明的电影罗生门其实是以藪の中（中译好像叫竹林中？）为基础改写的，跟芥川的小说罗生门只有半毛钱的关系。所以在中文里几乎作为俗语惯用语使用的“罗生门”，也只能指电影罗生门。

这才是电影罗生门原著，小说罗生门则是另一个故事

相比于电影的完全解释，小说的点到为止也颇有余韵

虽然过了n1 但是读这些名著 まだ不足だ

这是大三下日本文学史及作品选读的课文。
看完之后喜欢上了芥川龙之介写的小说，挺有意思的。
考试还考了芥川龙之介小说的内容理解和生平。

小说的结构还挺有趣的。计较真相是什么在我看来可能倒不是那么重要，人物关系的体现，也可以多点想象的空间。大正的文字有的地方还真是不那么好读

太经典了，和电影结合起来一下子就能感受到那种压抑、沉闷、恐怖的气氛。

我们所能描述的只是主观历史，被立场左右的真相甚至可能互相矛盾，被选择，被篡改，但我们需要的也只是我们需要的真相。

结构现在看来都很新颖，给读者很大的思考空间。没有真正意义上的真相，是为了表达现实本就是每个人眼中不同的样子？

无法统一的真相 没有答案的人性。

なんだろう、読んでいて不思議な感じが湧いてきた。真相はもうそんなに重要なことではなかったと思うようになった。

真相在哪裡呢

芥川龍之介 神です

[藪の中_下载链接1](#)

书评

[藪の中_下载链接1](#)